

益城の若もんも、がまだしょっぱい！

町でうわさの若者を紹介。

夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

陸上 短距離(100 m)

名前 さかい ゆう か
酒井 優香 さん (16)

行政区 広崎 4 町内

県立熊本商業高等学校 2 年生

部活／陸上部 100 m 自己ベスト／12 秒 21

第 67 回全国高校陸上対校選手権南九州地区予選大会

女子 100 m (1 位) 200 m (3 位)



「陸上を始めたきっかけは、小学 6 年生の時に出場した町の記録会で 1 位になったことです。父の勧めで当時やっていた剣道から転向しました」と話すのは、県立熊本商業高等学校 2 年の酒井優香さん。

県高校総体では惜しくも 2 位だったが、沖縄県で開催されたインターハイ南九州地区予選 2 日目の 6 月 13 日、女子 100 m の決勝を制した。

「記録を見て初めて、自分が 1 位なんだとわかりました。とても嬉しくて思わずみんなと抱き合っていました」

その差、僅か 100 分の 1 秒。その瞬間、7 月 30 日から開幕するインターハイ山梨大会への出場が決まった。優香さんは「予選で 12 秒 21 の自己ベストが出たので、いけると思っていた」と大会を振り返った。

「好きな言葉は一生懸命。陸上は個人競技だけど、自分との勝負でもあるんです。スタートの前はいつも、自分に自信を持つようにモチベーションを高めています。気持ちはずいぶんタイムに現れます」と陸上の醍醐味を語った優香さん。「まずはインターハイの予選突破が目標。自己ベストを更新できれば」と続けた。

陸上部監督の塩塚秀夫先生は「彼女はハムストリングスがいいんです。走る技術もさることながら、勝とうという精神力も強い。近いうちに 11 秒台が出せると思います。大会が楽しみ」と太鼓判を押します。

「まだ 2 年生だから、今は走ることにしか考えられません。でも、ずっと陸上に携わっていったらいいな」と笑顔の優香さんは、今日もグラウンドを駆け抜ける。